

キリスト教委員会のHP(<http://rakuno-ce.org>)にアクセスして事前に聖書や讃美歌の確認をしましょう。

などの結婚式の場面でも、牧師や神父に扮した人が新郎や新婦に「誓いますか?」と問い、「誓います!」と答えるというのが定番になっています。しかし、厳密には教会の結婚式では「誓いを立ててはならない」という聖書の言葉を遵守して、結婚式では「約束しますか?」と問い、「約束します!」と答えるのが正式なものです。新婦や新郎から「《誓います》ではないのですか?」と尋ねられることもあるのですが、「《約束します》が本当です!」と説明するということが珍しくはありません。

12節前半は誓いそのものを全面的に禁じています。ユダヤ教にも軽々しく誓いを立てることを禁じる言葉は散見されるのですが(レビ記5章20-26節、シラ書23:9-11)、ヤコブ書は天や地に賭ける誓いだけではなく、あらゆる誓いを禁じることによって、誓うという行為そのものを止揚しています。12節後半は「然りは然り、否は否」とするよう勧めています。これは自分が「然り」(正しい)と思うことはその通りに実行し、自分が「否」(間違っている)と思うことは実行しないようにとの促しであり、自らの良心に基づく言行一致した責任ある生き方の大切さを教えています。

最近の日本社会では付度や同調圧力といった言葉が屢々聞かれます。これは上意下達や長い物には巻かれるという従来(の)の生き方を指してもいます。もっとも、上意下達、長い物には巻かれる、付度、同調圧力が跋扈するこの社会にあって、「然りは然り、否は否」を貫くことは並大抵のことではありません。しかし、付度文化に与して「然りは否、否は然り」としては、未来を創造する新たな研究など生まれようはずありません。相互性と対等性が重んじられ、ひとりひとりが大切にされ、「然りは然り、否は否」と自由に発言し生きることのできる社会の実現を夢見ています。

【ペンテコステ(聖霊降臨日)】

5月23日(日)はペンテコステでした。キリスト教の三代祝祭は「クリスマス」(降誕祭)「イースター」(復活祭)「ペンテコステ」(聖霊降臨祭)ですが、クリスマスとイースターに比べて、ペンテコステは日本では知られていません。ペンテコステはギリシャ語で50の意であり、ユダヤ教の五旬節に由来しますが、キリスト教では使徒言行録2章が描くイエスの復活の50日後に弟子たちに聖霊が降臨し、弟子たちが真理を悟った日とされ、この日に教会が誕生したことから、教会の誕生を記念する祝祭です。

【次回の大学礼拝(動画の配信)】2021年6月1日(火)10時40分

聖書:ヤコブの手紙 5章13-18節

奨励:「祈ること、願うこと」小林昭博先生(宗教主任)

【大学礼拝週報】2021年度 第6号(前学期第6号)

2021年5月25日(火)午前10時40分

リモート礼拝(酪農学園大学 黒澤記念講堂)

《大学礼拝》

〈礼拝動画の配信〉

前奏

讃美歌 讃美歌21 459番(飼い主わが主よ)

聖書 ヤコブの手紙 5章12節

奨励 「然りは然り、否は否——付度文化に抗して」

小林昭博先生(宗教主任)

祈り

讃美歌 讃美歌第二編 192番(シャロンの花)

報告

後奏

【本日の聖書】ヤコブの手紙 5章12節

12わたしの兄弟たち、何よりもまず、誓いを立ててはなりません。天や地を指して、あるいは、そのほかどんな誓い方によってであろうと。裁きを受けないようにするために、あなたがたは「然り」は「然り」とし、「否」は「否」としなさい。

【メッセージ】

本日の聖書テキストはイエスの言葉として知られる「然りは然り、否は否」(マタイ福音書5章33-37節)と同じ伝承に遡る内容が語られています。ここでは誓いを立てることそのものが明確に禁じられています。宗教と誓いは切っても切れない関係かもしれませんが、少なくともイエスとその影響を受けているヤコブ書は誓いを立てることを一切切禁じています。

とは言っても、キリスト教でも誓いを立てているのではないかと思われるかもしれません。教会に行ったことのない方でも、ホテルのチャペルでのキリスト教式の結婚式に参列したことのある方は多いでしょうし、テレビ